

「税金がない世界」

所沢市立所沢中学校

三年 吉川 莉央

「今日は税についての授業を行います。」

小学生のときに税について学ぶ勉強会があった。その内容は今でも覚えているほど、当時の私にとってしゅげきの内容だった。

勉強会で習ったことは、もしも税金の存在しない世界だったらという内容だ。それを見る前の私は、税金と言われても、買い物に行ったときに物を買ったらついではらわなくてはいけないお金だと思っていたので、買い物が高く済むのだから税金がなくなれば、もっと生活が楽になると思っていた。しかしその勉強会では、税金の使い道について教えてもらった。そこではあたりまえのようにただで受けれると思っていた病院の診察や、私達が使っている学校の教科書や学校に通うためのお金の多くが税金によって支えられているということを習った。当時の私は、それを知り、とても驚いた。中でも一番心に残っているのは、税金がない世界では、友達と遊んでいた公園が使えなくなっていたり、交番の人に何か助けてもらうためにもお金がかかってしまい、不審な人を捕まえることにもお金を要求されてしまうところだ。税金がなかったら、私達の生活は楽になるどころか、とても危険なものになってしまうことに、とてもしゅげきを受け、税金はとても大切なものだとすることをその

とき身をもって感じた。

そんな中でも世の中には税金をおさめようとしないう人もいるということと同時にテレビで知った。その人たちを見て私は、この人達は税金をおさめていないのに税金によって支えられているサービスや施設を利用しているということにとっても怒りを覚えた。私達はまた、税金をおさめる年齢ではないけれど、税金をおさめることで、自分も、他の人も、安心した生活を送れるということを知っている。それなのに税金をおさめない人がいたら、税金をおさめている人達の生活に負担が大きくなってしまふ。そうならないために、私達にできることを私は考えてみた。

私は、こうした税金をおさめない人を減らすために、私達ができることは、こうした作文やポスターなどの取り組みで、自分達がまず、税について関心を持ち、将来、私達も税金をおさめるようになったときに、しっかりと税金をおさめること。そして、税の大切さを世の中の人に発信していくことができると思っただから私は、これから先も今と変わらず、暮らしやすい、良い生活を送れるように税金に関心を持ち、しっかりと税金をおさめられる人になりたい。